

UNITE FOR GOOD

2025~2026年度
RI会長メッセージ

よいことのために手を取りあおう

WEEKLY REPORT

NOVEMBER.16.2025 第2165回

NOVEMBER.19.2025 第2166回

UEDA EAST

上田東ロータリークラブ

第2600地区 東信第2グループ 創立1978.6.14

会長／山寺高太郎 幹事／倉島博 会報委員長／松山賢太郎

例 会：毎週水曜日 午後12:30 ~1:30

会 場：上田東急REIホテル

事務局：上田市天神4-24-1 上田東急REIホテル 3F

TEL 0268-21-3500 FAX 0268-21-3501

U R L : <http://www6.ueda.ne.jp/~uedaeast-rc/>

E-mail : uedaeast-rc@po6.ueda.ne.jp

第2166回例会

イニシエーションスピーチ

11月19日(水)



手塚 達也君
(損保ジャパン(株)上田佐久支社)

今回は、私の趣味である骨董品収集、なかでも古銭収集に関連して「小判改鑄の変遷から見る江戸時代の経済」というテーマでお話しさせていただきます。

その前に簡単に自己紹介しますと昭和47年3月に福岡県大野城市というところで生まれ、実家は400年以上続く農家です。

大学を卒業してからは、平成6年に日本火災海上保険(現損保ジャパン)という会社に入社し、北九州市の小倉を皮切りに山梨県富士吉田市→千葉県松戸市→札幌市→東京の霞が関と西新宿→富山県高岡市→函館市→帯広市を経て本年4月から上田市に着任しました。

上田とは縁もゆかりもないと入会時のあいさつで申し上げましたが、調べてみると西日本の手塚姓のほとんどは上田から大阪の帝塚山(てづかやま)に住み着いた手塚姓が西日本各地に広がったということで、やはり縁があって上田に来たのだなと思いました。

ここからは本題ですが、江戸時代は小判の改鑄が度々行われました。家康のころは金の含有量は85%でしたが、綱吉の時に初めての改鑄が行われ金の含有率は57%まで下がってしまいました。その後、吉宗から家茂の時代まで改鑄が繰り返され、吉宗までは含有量を下げるだけでしたが、それ以降は、大きさも小型になっていきます。

では、なぜ小判の改鑄が必要だったかをAIで調べると、金銀の産出量の減少によって財政が悪化し、貨幣の品位を落とすことで差益(出目)を得るため。と書かれています。金銀の産出量が減って財政が悪化して、金の含有量を下げるることは理解できますが、なぜ小型化して行ったのでしょうか。

実は、江戸時代の貿易は、輸入ばかりで輸出品がほとんどないため、お金(金・銀・銅)が出ていく一方でした。また、経済規模(GDP)が家康の時代より綱吉の時代では2倍、幕末のころは2.5倍に達していました。すなわち、経済成長に合わせて貨幣=金銀の流通量を増やす必要があるにもかかわらず、国内の金銀が少くなり、吉宗の時代までの大きな小判を維持することが困難になりました。

江戸時代とは、徳川宗家400万石で全国3000万石を統治し、貿易は輸入が過剰な片貿易で代金の支払いで金銀が流れる一方、通貨制度は金銀複本位制であったため、通貨の供給量は常に金銀の保有量が上限となるという状態で、さらには社会構造が大きく変化し、経済成長が続くという今風に言うと「無理ゲー」でした。

すなわち、経済成長が続く中で貨幣の流通量を増やす必要があるにもかかわらず、金銀が不足し、十分な通貨が供給できない「デフレ・レジーム」を避けられない構造(常に緊縮財政を迫られる)だったのです。

これを解消する唯一の手段が小判の改鑄であり、江戸時代の貨幣制度とは、通貨に地金以上の価値を持たせるいわば「管理通貨制度」の先駆けだったのです。

例 会 日 誌 11月19日(水) 晴れ 2025 ~ 2026 No.17

- 司 会 手塚達也君
- 齊 唱 「四つのテスト」
- ラッキー賞 塩之入永子さん(季節のアレンジ花)
- 友 愛 賞 竹内 強君(蓑輪君より栗かの子)
- 11月慶祝 【結婚記念日祝い】
 - 後藤正直君・恵位子さん 11/1
 - 関 邦幸君・精子さん 11/3
 - 舟見哲也君・高子さん 11/6

- (慶祝の続き)
 - 増田篤子さん・芳希さん 11/8
 - 橋詰武利君・裕子さん 11/11
 - 塙田泰裕君・美佐子さん 11/11
 - 丸山浩治君・由香さん 11/22
 - 田村吉宏君・由紀子さん 11/23
 - 【誕生日祝い】
 - 塩之入永子さん 11/7 高野智宏君 11/16
 - 宮本茂幸君 11/18 佐藤友則君 11/22

■会長挨拶



山寺 高太郎 会長
国際ロータリー第2600地区地区大会
が、11月15・16日松本市で開催されました。上田東クラブからの参加者は少し寂しかったですが、参加された方々は大変ご苦労様でした。又ありがとうございました。多くの会員の皆さんには、それぞれ忙しいでしょうが、来年は飯田市にて開催されるということで、飯田の焼き肉を楽しみに多くの方々が参加されることを期待しております。

さて、第一日目の会長・幹事会にて2026-27年度ガバナーに橋上信久君(飯田南RC)、ガバナーノミニーに金井啓司君(長野北東RC)、ガバナーノミニー・デグジネートとして出田行徳君(上田RC)が選挙されることなく推薦指名され、それぞれ就任する旨、選挙管理委員会より報告されました。

又、本地区大会記念事業として、1. 長野県への寄付 2. 松本市への寄付 3. R財団への寄付 4. 米山記念奨学会への寄付が議決され報告されましたが、松本市以外いづれもその内容は報告がなく不思議な気分でした。なんとなく例年そんな感じだったかもしれません。

記念セミナーとして、神野正博RI会長代理(七尾RC)の能登半島地震における同氏が理事長を努められている恵寿総合病院の事前準備と実際の対応について生々しいお話を伺い、私も若いころ赴任していた頃を思い出し、わが身に起こった出来事の様に聞いてしました。

次に、国際基督教大学(ICU)ロータリー平和センター長の新垣修教授によるロータリー平和フェローシップについて講演があり、我々の支払う200円／一人が世界平和あるいは紛争解決、さらに飢餓対策の為の人材育成の為に使われているとのことでした。ここも又懐かしい思い出のある大学でちょっとびっくりしました。

出会いの場としてのこのような会議はそれぞれの価値があり、ロータリーマジックと言われるものでしょうが、

国際的あるいは大きな組織は、セレモニーが大きくかつ長いので、開催者は大変ご苦労をしているのだろうなと思いつつ、参加する立場の我々も含めて関係者の皆様におかれましては心身ともに大変お疲れさまでした。

■2024-25年度「クラブ優秀賞」受賞

昨年7月に「ロータリー賞」から改称された賞です。奉仕の目標を達成したクラブに贈られます。地区大会の表彰式でガバナーから渡辺直前会長に渡されました。



倉島 博 幹事

■幹事報告

・上田青年会議所より『年忘れの宴』のご招待状が届く。

12月13日(土) 18:00～ 香青軒

■出席報告

	正会員数	ベース	欠席	メイク	出席率
本 日	53	49	26	—	46.94%
前々回	53	49	21	13	83.67%

ニコニコBOX

(敬称略)

上原、上條、工藤、倉島、後藤、小林、塩之入、関、滝澤(修)、竹内、田守、手塚(達)、中嶋、蓑輪、母袋(創)、母袋(卓)、柳澤亨、山寺、渡辺
※上原 達君／手塚さん、スピーチ楽しみにしています。
※工藤 恒君／手塚さん、スピーチ楽しみです。
※竹内 強君／手塚君の卓話、興味津々で～す！
※手塚達也君／卓話、緊張しています！

※渡辺敏成君／地区大会、参加が少なく淋しかった。今日は手塚さんの話で盛り上げて下さい。

※母袋創一君／上田プラスチック飯島君、「ものづくりエクセレンス賞」受賞おめでとうございます。
※後藤正直君／本日・明日と丸子修学館高校の1年生の生徒を企業研修で受け入れています。

※母袋卓郎君／菅平は雪！タイヤ交換はお済みですか？
　　本日の金額／19,000円 累計／521,000円

第2165回

RI第2600地区

地区大会 in 松本

11月16日(日)



■出席報告

	正会員数	ベース	欠席	メイク	出席率
本 日	53	48	41	—	14.59%
前々回	53	49	21	13	83.67%

[次週のプログラム]

12月10日(水) イニシエーションスピーチ 舟見哲也君